

令和7年 そば情報 Vol.1

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugi_jyutujyohou.html



南会津農林事務所農業振興普及部	Tel 0241-62-5262
南郷普及所	Tel 0241-72-2942
J A 会津よつば田島営農経済センター	Tel 0241-63-1172
南郷営農経済センター	Tel 0241-72-2554
下郷資材センター	Tel 0241-69-1088
只見資材センター	Tel 0241-84-2214

- そば栽培は、事前のほ場準備で決まります。
- 排水対策や適正施肥、鳥獣被害防止対策により、収量を確保しましょう。





1 そば栽培の基本 ※ 本資料は一般的な秋そばについての資料です。

(1) そばについて

- ・ そば栽培は、春に播き夏に収穫する「夏そば」と、夏に播き秋に収穫する「秋そば」の栽培体系があります。南会津では秋そばが一般的です。
- ・ 生育期間（播種期～成熟期）は70～80日程度であり、他の作物に比べ短いです。
- ・ そばは湿害に弱いです。特に出芽期前後の冠水は発芽・生育不良を招くため、ほ場の排水対策が重要です。
- ・ そばは肥料の吸収力が強いいため、窒素が多いと倒伏しやすく、減収に繋がります。

(2) 栽培スケジュール

- ・ 播種適期は7月中旬～8月上旬です。

	7月	8月		9月			10月	
	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	
ほ場準備	播種							
		3～7日						
		出芽	開花期	開花盛期		成熟期		
※	7/24	7/30	8/20	8/26		10/4		

※ 作柄判定ほ（下郷町）における直近5か年の平均値

2 排水対策

- 排水不良のほ場はなるべく避けます。
- ほ場準備の段階から十分な排水対策を行います。明きよは必ず施工することとし、水田転換畑など排水性の悪いほ場では、暗きよの施工も行いましょう。

排水対策の例	内容
明きよの施工(必須)	畦畔に沿って排水溝を掘り、水の通り道を作る。
暗きよの施工	カットドレーンにより地下に排水溝を設けたり、プラソイラにより心土破碎を行ったりする。

3 施肥

- 肥料成分の3要素について、リン酸>窒素>カリの順に施用効果が高いです。
- リン酸、カリは生育量の増加や稔実歩合の向上に重要であり、窒素は生育量の増加に重要ですが、多肥は倒伏を招く可能性があります。
- 令和3～5年に実施した南会津地方のそばほ場における土壌分析結果（4町村約25か所で実施）では、全体的にリン酸が不足していました。

基肥施用量 (kg/10a)	N (窒素)	P (リン酸)	K (カリ)
	0～3	3～5	2～3

- 前年に倒伏が発生したほ場では、基肥の窒素量を減らしましょう。

4 鳥獣被害防止対策

- そばは生育期間を通じてイノシシ等の獣種から加害されます。
- ほ場周辺のやぶの刈払いや防護柵の設置を行きましょう。
- 電気柵は効果の高い侵入防止策ですが、正しく設置しないと効果が低下します。以下の点に気をつけて管理を行きましょう。

動物の種類	電気柵の段数	電気柵線の高さ (cm)				地際～最上部 の高さ (cm)
		1 段目	2 段目	3 段目	4 段目以降	
イノシシ	2	20	20	-	-	40
ニホンジカ	6～7	20～25	30	30	40	200 以上
ニホンザル	6～8	15	15	15	20	110～150
ツキノワグマ	3	20	20	20	-	60

※ ニホンジカ用は高さを最低 200cm としましょう。

※ ニホンザル用は 4 段目以降、+と-を交互に通電するようにしましょう。

次回発行は 9 月頃
(収穫、乾燥・調製について) を予定



参考

そばの「グリーンな栽培」
マニュアル (只見町 HP)